

第 1 期総合戦略と比較した主な変更点について

1. 「1. 策定の趣旨」(P 1)

- ・ 2 段落目に、国の第 2 期総合戦略における策定の考え方を加筆。
(第 1 期の方針を維持しながら新しい視点を取り入れて施策を推進する)

2. 「3. 対象期間」(P 2)

- ・ 令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間とした。

3. 「II. 人口の動向」(P 3～7)

- ・ 統計の数値を、「平成 27 年国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所において平成 30 年 3 月 30 日に公表した「日本の地域別将来推計人口」の数値に時点修正した。

4. 「III. 基本的視点」(P 8)

- ・ 「1. 「まち・ひと・しごと創生」政策 5 原則」は、国において改訂があったため「1. まち・ひと・しごとの創生に向けた政策 5 原則」に見出し及び、5 原則の内容を修正した。
- ・ 改訂予定の「1. 人口の将来展望（横手市人口ビジョンから）」の数値に時点修正。

5. 「IV. 基本目標と施策の基本的方向」(P 11～)

- ・ 国の政策体系にあわせ、基本目標を 4 つに再編し、新たに共通目標として「新しい時代の流れを力にするまちづくり」を加えた。
- ・ 指標は、総合計画に用いる指標や、関連する計画の K P I を活用した。
- ・ S D G s との関連の記述を追記した。
- ・ 基本目標に紐づく事業の整理を行った。